



うち ごとく

家読のススメ NO. 2

家読で読みニケーション！

「家読(うちごとく)」は、読書を通して、家族間のコミュニケーションをより深める取組です。読書体験を他者と共有することで、人とつながる喜びや読書の楽しさを広げます。

読書は個人的な体験ですが、感想を話し合ったり、人にすすめたりしてことばにすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高める事につながります。「家読」は、子どもも大人も一緒に成長し心の豊かさを育む活動でもあるのです。(トーハン「うちごとく実践ガイド」より)

子どもも大人も関係なく、それぞれの目線で一緒に本の世界を楽しみ、共感し、語り合えることが「家読」の良さです。

家読って難しいの？

いえいえ、そんなことはありません。「家読」には正しいやり方や、難しいルールはありません。各家庭の生活スタイルに合った方法を見つけて、家族で本を楽しめばよいのです。

まずは大人が楽しもう！

子どもにとって、家族で本に親しみ、共に過ごした時間は、成長後もその子の心を支え続ける大切な思い出になるでしょう。子どもとゆったりとした時間を共有できるのは、今しかできないことです。この貴重な時間を、大切に過ごしたいですね。「子どもに本を読ませよう。」とするのではなく、「子どもと一緒に本を楽しもう。」と考えてみては、いかがでしょうか。

家読を実施しているところの感想を見ると、家読を通じて、子どもの日々の成長や変化を感じられるようです。本を通じて子どもたちとの楽しいひとときを過ごしていただき、子どもたちの新しい一面を発見していただけたらうれしい限りです。

本校では今年4月の育友会総会で、「家読のススメ」リーフレットを発行し、

「週2日(火・木)をNOテレビ、NOゲーム、NOスマホ・携帯dayにして、家族で読書をしましょう！」

と、提案させていただきましたが、なかなか毎週は無理かと思われま



そこで**1年に3回の「家読強化週間」**を設けて実施します。ご協力お願いいたします。

なお、「家読ノート」を配布しますので、無理のない範囲で、家読された感想やご意見、ご要望を書いてください。

1回目は、7月20日(月)～8月2日(日) (夏休み中) 家読ノート提出は8月3日(月)

2回目は、10月27日(火)～11月9日(月)の読書週間 家読ノート提出は11月10日(火)

3回目は、12月25日(金)～1月7日(木) (冬休み中) 家読ノート提出は1月8日(金)

どんな本がいい
か迷ったら…

図書室に置いている
本もありますので、ど
うぞご利用ください。

『中学生に読んでほしい本』を親子で共に読むことをお勧めします。
図書館で家読に推薦している本を紹介します。
「赤毛のアン」「穴」『いのちのハードル「1リットルの涙」母の手記』
「馬を洗って…」『急行「北極号」』「クラバート」「クロニケル千古の闇」
「佐賀のがばいばあちゃん」「三姉妹探偵団 1～20 巻」「13 歳のハローワーク」「13
歳の進路」「16 歳の教科書 ドラゴン桜公式副読本」
「スターガール」「種をまく人」「ちゃんと話すための敬語の本」「天の瞳 幼年編」
「図書館戦争」「夏の庭 The Friends」「野ブタ。をプロデュース」『「ビミョー」
な未来をどう生きるか』「100 万回生きたねこ」「ビリー・ジョーの大地」「勉強が
できなくても恥ずかしくない<1>」「ぼくらの七日間戦争」「星の王子さま」「まる
子だった」「ミカ!」「世界を見る目が変わる 50 の事実」「麦ふみクーツェ」
「ものを食う人びと」「闇の守人」「倚りかからず」

『中学生に読んでほしい 30 冊』（新潮文庫）…残念ながら文庫本は図書室には置いていません。
「夜のピクニック」「夏の庭」「しゃばけ」「坊っちゃん」「ツナグ」「海辺のカフカ」「思い出のマーニー」「銀河鉄
道の夜」「ユタと不思議な仲間達」「星の王子さま」「博士の愛した数式」「走れメロス」「風立ちぬ・美しい村」「伊
豆の踊子」「レインツリーの国」「きよしこ」「ボッコちゃん」「ミッキーマウスの愛」「蜘蛛の糸・杜子春」「トム・
ソーヤの冒険」「精霊の守り人」「十五少年漂流記」「老人と海」「4 T E E N」「潮 騒」「シャーロック・ホーム
ズの冒険」「西の魔女が死んだ」「赤毛のアン」「アメリカひじき・火垂るの墓」「教科書で出会った名詩 100」

読書を、おうちの文化にしよう!

家読を続けている人はこんなやり方をしています。



【毎週〇曜日は読書の日】

- ・1週間に1度、夕食後は「読書の日」と決めています。
- ・その日は、食後はテレビやゲームをやめ、家族全員で読書をします。
- ・1冊の本をみんなで読んだり、読んでいる本の話をしたり、それぞれに読書をしたりします。家族の一体感が高まり、絆も深まります。

【家族で読書リレー】

- ・おもしろい本をみつけたら、家族でまわし読みをする約束をしています。
- ・本を読んだ人は、一言感想を伝えて次の人にまわします。
- ・本の内容に関するクイズを出すと、喜んで読んでいます。

【シリーズものは1冊ずつ順に】

- ・1冊1冊を丁寧に読んで欲しいので、シリーズものを買ったり借りたりした場合でも、一度に本棚に並べず、読み終える度に1冊ずつ子どもに渡すようにしました。子どもの興味が長持ちしました。

【読み聞かせを続けました】

- ・ほんとうの本のおもしろさが、十分に伝わるように、6年生になるまで、読み聞かせを続けました。
- ・思春期を迎えても、子どもとのコミュニケーションがとりやすいのは、読み聞かせを続けていたからだと思います。

【家読タイムの過ごし方】

- ・親が子どもに読み聞かせをする。
- ・子どもが親に読み聞かせをする。
- ・それぞれが自分の好きな本を読む。
- ・同じ本を親子で一緒に読む。
- ・1冊の本を交互に声に出して読む。

【カレンダーを読書カードに】

- ・カレンダーに読んだ本の題名を書き込んでいくと、子どもの好きなジャンルや読書傾向がわかります。
- ・子どもが本を読み聞かせてくれた時は、カレンダーに金の頑張りシールを貼ってあげました。

あなたの家庭は、どんな「家読スタイル」ですか？
おすすめ方法があれば教えてください。情報をお待ちしております。